

〜川はげい〜

「暦のつえでは・・・」
なんて言葉がいまいちピンとこない沖繩ですが、今年の夏は、一段と暑い。みなさんはナチマキ（夏バテ）なんかしていませんか？

この暑さでは、野外調査に出るのもおっくうというのが正直なところ。しかし、先日の河川調査は、久々に心地よかったです。その様子をみなさんにお伝えしますね。

今回の目的地は、町内を二分する丘陵部（上地区）と平野部（下地区）の中間をなす傾斜面を流れる小川です。現場にくわしい職員とともに、上流目指して進むことになりました。



この小滝の先には…？

あちこち目につきます。
ところ、生物はいないものかと、キョロキョロしていると、石の下にカニを発見。もしや、清流だけに生息するサワガニ？なんて期待したの

小川の周囲に生い茂る木々の陰で、直射日光を気にすることもなく、

順調なすべり出し。このあたりは、アコウやガジユマル、アカギ、イヌビワといった沖繩在来の木がほとんどです。大きなアコウの根が、網目のように張っている姿は圧倒されます。

水気のあるクチャ（粘土質泥灰岩）の上はヌルヌルとすべるので、足元に気をつけながらその先へ。周囲の雰囲気は、まるで山原の川のほりです。大雨時に削られ崩れた川岸や、なぎ倒された木が



けっこう見ごたえのある大滝

もつかの間、それは町内河川によく見られるモズクガニでした（しかも死骸）。それ以外に、生物の姿をみることはありませんでした。

小さな滝つぼを通過し、適度に疲れたころ、大きなガジユマルのヒゲのトンネルから、高さ七、八メートルの滝を見上げた時は、涼しい風が通り抜けた気がしました。

聞くところでは、この上流にある家庭排水が流れ込んでいるため、河川の水質は悪いようです。せつかく雰囲気のある小川なので、今後の下水道整備などに期待したいものです。

ところでみなさんも、この小川に行ったことあるのでは？